

なぜなケアプランセンター



毎日家で、幼い子どもから「何で？」と質問攻めにあっている。子どもの探求心は凄く、忙しい日々の中で答え続けるのは大変だ。介護にも、子どものような探求心が必要だと感じる事がよくある。認知症が進んで、周りの人からしたら理解できない行動をとる人がいるが、その人が取る行動には必ず理由がある。その行動は「何で？」を見つけることで対応が変わり、安心に変わる場面を何度も見てきた。日々の忙しさの中で忘れがちだが、「何で？」と常に考えられる探求心を持ったケアマネージャーでありたいと思う。

共生の里ヘルプステーション



中国人の利用者が数人います。言葉の通じる度合いはそれぞれ違って、少し日本語が話せて、ゆっくり話せば何とか通じる方もいれば、ほとんど通じず、中国語しか話せないの、意思疎通が難しい人もいます。最初の頃はオーバーアクションで伝えるのも恥ずかしく四苦八苦でしたが、今では携帯電話の翻訳アプリを使い、オーバーアクションにも慣れ、時には通訳の力も借りて、何とかコミュニケーションを取っています。少しずつでも言葉の勉強をして、少しでも多く会話ができるようになればと思っています。

誕生日に寄せて

京都東山出身で93歳になります。高槻に住んで30年以上経ちますが、昔は薬関係の仕事に就かれ、結婚後は専業主婦をしていました。とてもシャイな性格で、他の利用者にお礼の言葉はありますかと聞くと、顔を赤くして照れくさそうに俯いていました。しかし、「デイは楽しい。みんな友達！」と嬉しそうに言います。どうぞ今後ともお元気かつ穏やかに過ごしてください。

